

「小学校3年生以下の大会」特別規則

H28. 10. 7

大会規定、試合規則は基本的に「低学年の大会」に準ずる。

以下、本大会の特別規則

- ・イニング数は5回とし、1時間10分を過ぎて新しいイニングに入らない。
- ・投手板と本塁間の距離は14m、塁間距離は21mとする。
- ・攻守交代の特別規則を設ける。すなわち、3アウトにならなくとも攻撃側が1イニングに5点目を記録した時点で攻守交代する。
- ・得点差によるコールドゲームは適用しない。
- ・6点以上の点差をつけてリードしている先攻チームの攻撃中に規定時間（1時間10分）が経過して、その表の攻撃が終了した場合、試合の勝敗は決しているが、その裏の後攻チームの攻撃も行う。（なるべく多くの選手を打席に立たせようという考え）

例：

	1	2	3	4	
Aチーム	3	2	0	1	← ここで規定時間経過
Bチーム	0	0	0		← 攻撃を行う

(注1) 後攻チームがリードしていて先攻チームの攻撃中に規定時間（1時間10分）が経過して、先攻チームが同点または逆転することなく攻撃を終了した場合、試合は終了する。

(注2) 後攻チームがリードしていて後攻チームの攻撃中に規定時間（1時間10分）が経過した場合、審判員はその時点でその旨を両チームに伝え、その時点の打者が打撃を完了したら試合を終了する。

(注3) 後攻チームがリードされている、または同点で後攻チームの攻撃中に規定時間（1時間10分）が経過して、後攻チームが逆転または勝ち越した場合、その時点で試合は終了する。（いわゆるサヨナラ勝ち）

- ・主将の背番号は10番以外でも可とする。
- ・選手はユニフォームを着用すること。3年生以下ということでユニフォームが揃っていないチームもあるので、不揃いでも認める。但し、ジャージやトレーナー等は不可。
- ・混成チームは、背番号の重複を認める。従って、主将の背番号が重複していても良いが、主将をどちらにするかは決めておく。
- ・混成チームであっても、監督・コーチの背番号30, 29, 28はそれぞれ1名ずつとする。この場合監督・コーチのユニフォームは、それぞれの所属球団のユニフォームで良い。
- ・基本ルールの修得という考えから、危険行為やルール上の違反行為があった場合は、審判員が試合を止めて、選手やベンチに指導する場合がある。